

事業計画書の記載要領（中部経済産業局）

1. 申請者の概要（1）

（別紙1）

事業計画書 ※災害復興事業

1. 申請者の概要

1 伝統的工芸品の品目名	〇〇塗
2 法人番号	1234567891011
3 申請者名	有限会社〇〇漆器工房
4 補助対象事業者の類型	当てはまるものに○を打つ
A	伝産法第4条第1項に定める特定製造協同組合等（産地を代表する組合） 組合名：
B	<input checked="" type="radio"/> 伝産法第4条第1項に定める特定製造協同組合の構成員 組合名： 〇〇塗協同組合
C	伝産法第4条第1項に定める製造事業者
D	伝産法第4条第1項に定める製造協同組合等（特定製造協同組合等以外の組合、グループ等） 組合名：

ここには、所属する
団体名を正確に記
入してください

✔ 特定製造協同組合って？

各伝統的工芸品のウェブページに掲載のある「産地組合」と同義です。



<石川県>



<富山県>

○対象は、**国指定の伝統的工芸品**です。
以下に当てはまらない場合は、**対象外**

<石川県>

輪島塗、山中漆器、九谷焼、加賀友禅、金沢箔、金沢仏壇、七尾仏壇、金沢漆器、牛首紬、加賀繻

<富山県>

高岡銅器、高岡漆器、庄川挽物木地、井波彫刻、越中和紙、越中福岡の菅笠

○法人番号は個人の方は記入不要です

○個人事業主の方は、個人名を記入

○類型は以下のフローで判断しましょう

製造者組合やグループ（団体申請）ですか？

YES

NO

それは、**特定製造協同組合**ですか？

特定製造協同組合に所属していますか？

YES

NO

YES

NO

Aに○

Dに○

Bに○

Cに○

1. 申請者の概要 (2)

5 代表者 役職 氏名

6 担当者 役職 氏名

7 所在地 〒 住所

8 担当者電話番号 - -

9 担当者FAX番号 - -

10 担当者電子メールアドレス @

11 通知方法 当てはまるものに○を打つ

○申請者の基礎情報を入力。
間違いのないよう、ご注意ください

<input type="checkbox"/>	上記9. メールアドレスに送付
<input type="checkbox"/>	上記5. 所在地に郵送
<input checked="" type="checkbox"/>	現在の居住地（一時避難先等）に郵送 (現在の居住地：石川県〇〇市〇〇町〇-〇-〇)

○基本はメールを選択ください。
(修正や問い合わせのやりとりが進めやすいため)
避難中の方で、メールが使えない方は、書類を確実に受け取ることができる住所の記入をお願いします

12 【生産設備等の共同利用に係る申請の場合】申請者の構成 (注：該当しない場合記載不要)

- ① 共同利用者の数
- ② 共同利用者の情報

利用者名	名	法人番号

○該当しない場合は空欄で。
複数人で共有して利用するケースで利用する欄です。その場合、所有者（利用者）全員分の名称を記入しなければなりません。（個人の場合は法人番号は不要）

2. 申請事業内容（1）

2 申請事業内容

1 事業名 （該当するものに○印）

<input type="radio"/>	生産設備等整備事業	※設備、道具
<input type="radio"/>	原材料確保・試作品製作事業	※原材料、試作

○直近の**製品出荷額**（今回対象とする**伝統的工芸品**）を記入ください。

総出荷額に伝統的工芸品以外も含まれる場合は、売上に占める割合等を勘案して、伝統的工芸品の製造出荷額を記入してください。

2 申請者の総出荷額（震災前の年間出荷額の合計）

300 万円（2023年8月期）

○被害状況を具体的に説明してください。

・被害状況は、今回補助金を申請する物品（購入や修繕を行う対象）に被害があったことが分かるよう、記入ください。

3 被災した設備等の状況

当てはまるものに○を打ち、被害状況を記載ください。

	分類	被害状況	添付書類 ※
<input type="radio"/>	設備	自社工房内に設置の塗師風呂（幅約1メートル×高さ約2メートル 木製5段棚）が地震により損失。なお、工房は全壊し立ち入りできない状況	被災状況を説明した資料（別添）
<input type="radio"/>	道具	自社工房内で使用していた刷毛20本が損傷。	同上
<input type="radio"/>	原材料	自社工房内にて使用していた漆約10キロが地震により損失。	宣誓書（別紙1-1）

○添付書類は①→②→③の順にご検討ください。

・添付書類の「被災状況を説明した資料」は、様式の決まりはありません。写真があるとわかりやすいですが、ない場合は文章でもOK。
 ・被災証明は、「もの」が被害を受けたことが分かるもの。不安な場合は、「別紙1-1」の宣誓書も併せて添付ください。

※次のいずれかを添付すること

- ①被災状況を説明した資料（自由様式）
- ②生産設備等に被害があったことが確認できる公的書類
- ③申請内容が虚偽でないことを宣誓する直筆署名入り文書（別紙1-1）

2. 申請事業内容（2）

○具体的な名称や用途を記入。

どのような作業に使用するのか、説明を加えてください。

生漆、漆(赤)、漆(黒)など、行を分けても、一行にまとめて記入してもOK。

○必要性・緊急性は規模が分かるよう、できる限り具体的に。

例) 現在、半年分の〇〇塗の受注があり(椀〇個、箸〇セット等)、生産するために道具一揃え(△、×、□各1)と〇kgの漆、金・銀・銅粉が必要。(昨年度利用実績: 漆〇kg/年、金〇g/年、銀〇g/年)

例) 〇〇焼の素地を作るための「型」が壊れてしまった。試作のためbの材料として、型1個あたり平均〇kg使用×〇個分の石灰が必要。

例) 1台所有していた塗師風呂のひび割れ、回転装置の故障の修繕を外注したい(修繕費には材料費、作業工賃、運搬費を含む)。

上記の詳細

設備・道具・原材料名	数量	必要性・緊急性 (注:被災前の通常の使用頻度、使用数量も並記すること)	購入した場合の納入時期、修繕の時期(注:令和6年3月末までに完了することが求められます)	設置・使用場所(注:市町村名から始まる具体的な場所)
塗師風呂	1台	注文を受けて仕掛かり中の商品(5種類、各20個)を完成させたい。本設備は製造に不可欠。 (常時使用、椀100個が乾燥できる風呂を1台所有)	3月中旬	現在の居住地(〇〇市〇〇町)にて設置。自社工房が再建したときには移設する。
刷毛	15本	刷毛5種類を使い分けて漆を塗る。(通常、1ヶ月で買い換える。)5種類を完成までの3ヶ月間で使用する15本を購入したい。	3月中旬	現在の居住地(〇〇市〇〇町)にて使用。自社工房が再建したときには移設する。
漆	6kg	注文を受けて仕掛かり中の商品を完成させたい。 (毎日使用、2kg/月程度使用。)	3月中旬	現在の居住地(〇〇市〇〇町)にて使用。自社工房が再建したときには移設する。

○基本は工房所在地の住所

2. 申請事業内容（3）

「**型等の試作・製作**」とは、製品そのものではなく、「型」などの中間工程の物品が破損し、その試作製作を行いたい場合に該当する

○今回は、事業期間が短く該当するケースは少ないと思います。「**実施なし**」又は空欄にしてください。万が一該当があれば、その内容を記入ください。

型等の試作・製作の場合のスケジュール等（注意：補助事業期間内に完了することが求められます。）

実施なし

5 期待される効果・目標

1年後に震災前の生産額の1/2以上を生産可能としたい。

○効果・目標は、自身の目指す事業再開後の姿、意気込みを記入してください
〈いつまでに、どの程度〉を目指す。

6 実施体制（役割分担）

有限会社〇〇漆器工房は、漆器（箸、お椀）の製造業者。上塗工程を自社内で行う。

○実施体制には、まず、自社の製造工程（分業体制）での役割を記入。他社に外注する場合や、材料や道具の購入先、協力会社など関係者がいれば、名称と役割を記入。

□ 1 伝統的工芸品産業支援補助金（災害復興事業）事業計画書（様式）

- 申請書の表紙
- （別紙 1）事業計画書
- （別紙 2）経費計画書

□ 2 組合、企業の概要、伝統的工芸品製造を生業としていることが分かる資料（写し可）

<組合や団体の場合>

- 定款 又は 登記簿謄本（登記事項証明書）
- 直近事業年度の構成員の氏名（名称）を記載した名簿
- その他、団体の性質がわかる資料 ※上記で製造事業者の団体であることが分からない場合の補足資料

<企業や個人事業主の場合>

- 資本関係がわかるもの ※企業の場合のみ。株主名簿など
- 伝統的工芸品製造を生業としていることが分かる資料（写し可）

必ず何らかの資料をご準備ください
例) 定款やパンフレット、事業報告書など
例) 一部工程を受注する職人の場合、塗師屋等との取引関係が分かる書類（塗師屋と自身の名称、受注内容が記載された発注書など）

□ 3 生産設備、原材料等の被害が把握できる次のいずれかの書面

- 工房内の設備や道具、原材料の被害状況を撮影した写真数枚とそれぞれの写真の説明。
- 被災した生産設備等にかかる罹災（被災）証明書など公的機関が発行したもの。
→ 被災した生産設備、原材料等の被害の状況は記載されていますか？
- 被災状況の申請内容が虚偽でないことを宣誓する直筆署名入りの文書（別紙 1 - 1）